

社会福祉法人恵康会 令和6年度 事業報告書

1. 法人の概要

法人名：社会福祉法人恵康会

所在地：〒800-0044 北九州市門司区上藤松3丁目2番1号

代表者名：理事長 渡邊 義嗣

設立年月日：平成21年9月11日

主な事業：特別養護老人ホーム、グループホーム、ショートステイ

2. 法人理念

「一人一人の暮らしを思いやりの心で」

3. 令和6年度 事業報告

令和6年度の中で一番の課題は、感染症の予防でした。新型コロナと季節性インフルエンザについては、感染者数はかなり減少し、重症化した人も皆無で一定の成果を上げることができました。また、ノロウイルスやRSウイルスに関しては、感染者は確認されませんでした。このように良い結果は得られたのですが、感染経路をたどってみると、プライベート時での職員の外出時における感染がほとんどでした。感染予防の意識を持って行動できるよう職員に自覚を促しているところです。

また、令和7年1月に北九州市の総務課による一般指導監査及び介護保険課による実地指導を受けましたが、指摘事項無しという画期的な結果を得ることができました。準備は大変でしたが、この点は全職員に感謝するところです。ただ、常に日頃からの業務を遅滞なく終わらせておけば、ある程度の余裕をもって監査に臨めたと思います。事業継続計画については、北九州市の了承も得られましたが、状況は日々変化していきますので、その時々に応じて、柔軟に変えていく必要があると思います。

それでは事業所ごとにご報告申し上げます。

令和6年度事業の実施状況

（1）地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

【特別養護老人ホームひかりの丘】

定員：29名

・延べ利用者数：10097人

・入居稼働率95.3%

・主な取り組み

① 空室への速やかな入所

特養は北九州市の『特別養護老人ホーム 入所待機者円滑化システム』という制度があり、年2回の申込、面談、データ入力、施設ごとの仮待機者名簿の作成、入所検討会議の開催、施設ごとの待機者名簿作成と、入所に至るまで時間がかかります。そこで施設見学や、電話での相談、既入所者の紹介等、情報を見逃さないよう申し込みにつなげ、施設の情報や入所希望者（家族）と情報の共有をし、空床期間を短縮する努力が必要です。

② 研修について

職員不足を理由にしてはいけませんが、不十分なところです。今後は研修の実施方法などを検討し、できるだけたくさんの職員が研修に参加し、スキルアップできるよう考えていきたいと思います。

③ 建物や備品の保安・修繕

適切に行うことができました。

（2）短期入所生活介護（ショートステイ）

【ショートステイひかりの丘】

定員：10名

- ・延べ利用者数：3596人
- ・入居稼働率82.3%
- ・主な取り組み

① 感染対策

在宅の方の利用であるため、特に感染対策が気になるところです。デイサービスなどで感染されたかもしれない利用者が、潜伏期間中にショート利用というリスクを抱えながらにしては、感染が少なかったものと考えられます。

②サービスの質の向上

言葉使いはある程度改善してきていると思います。家族との関係性（緊急対応も含め）は概ね良好と考えます。

（3）認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

【グループホームひかりの丘】

定員：18名

- ・延べ利用者数：6239人
- ・入居稼働率94.9%
- ・主な取り組み

① 認知症の周辺状況を理解し、適切に対応する。

職員が安定している為、利用者ともなじみの関係ができていると思います。

認知症の研修やユニット会議を定期的に行い情報共有し、また、環境を整えて利用者が落ち着いて生活できる空間づくりも適切にできていると考えます。

②感染対策と家族との交流のバランスを確保する。

家族も大変協力的で、良好な関係が保てていると感じています。

（4）認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

【グループホームひかりの道】

定員：18名

・延べ利用者数：5799人

・入居稼働率88.2%

・主な取り組み

① 口腔ケアの徹底

専門職である歯科衛生士や歯科医師も驚くほどレベルが高くなったと評価します。

② 稼働率の向上

今年度は空床が続いていましたが、年度末になって2名の契約があり、あと1床になりました。見学や相談は多々ありますが、様々な理由で、契約に至らないことが多いです。今後も、病院や入居者紹介機関などと連携を取り、空床期間を短縮できるように情報の収集を徹底したいと考えます。

③ 施設内感染の徹底

感染者数も少なく感染対策は問題なくできていると思います。

4. 職員の状況

総職員数 85名（令和7年4月1日）

（・正職員30人・契約5人・非常勤26人・派遣・委託（請負含む）24人）

相変わらず人材不足であり、派遣職員の人数が増えてきており、経費が増して、人件費を圧迫しています。良い人材を直接雇用に切り替えていきたいところですが、思うようにいかない状況が続いています。また、ダブルワークで就業したいと申し出てくれる人材もいるのですが、36協定に抵触するなどして、なかなか思うようにいかないのが現状です。今後も、努力して、働きやすく、魅力的な職場づくりを目指していこうと考えます。

以上で、令和6年度事業報告を終わります。

令和6年度 社会福祉法人 恵康会
特別養護老人ホームひかりの丘 事業報告

(1) 事業所の種類

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

(2) 事業所の目的

利用者が住み慣れた地域での生活を継続することができるよう、家族・友人・地域住民との交流や地域活動への参加を図りつつ、利用者の心身の状況、希望、置かれている環境を踏まえ利用者の尊厳を守るとともに、適切なサービスを提供することを目的とします。

(3) 運営方針

基本理念『一人一人の暮らしを思いやりの心で』

運営方針《個性を大事に、自分らしく暮らしていくように支えます。》

《近隣地域とのつながりを密接に保つとともに、地域に開かれた施設を目指します。》

《口腔機能の維持、向上を図り、できる限り健康に暮らせるようにサポートします。》
を基に利用者の尊厳ある生活を支えていきます。

(4) 事業運営計画

- ・利用者の重度化に伴い、1人ひとりの状態を把握し専門職や嘱託医と連携を図り、異常の早期発見に努めます。
- ・利用者、職員ともに安心して日々を送れるように感染対策に努めます。
- ・職員が相談しやすい環境づくりを行い、職員の定着、介護技術や知識の向上を目指します。

(5) 利用定員

入居定員：3ユニット 29名

ふれあい 9名

まごころ 10名

やすらぎ 10名

(6) サービスの内容

入浴・排泄・食事等の介護、機能訓練、相談及び援助、健康管理、家族・地域との交流、その他必要であると思われるサービスの提供をします。

◇ 課題項目と方策とその報告

課題項目	達成のための方策とその報告
①利用者の重度化に伴い 1人ひとりの心身状況 を把握し、適切なケア を行う。	<p>(1) 日々の状態を把握し、少しの変化でも気づけるように観察を行う。 (2) 専門職、嘱託医、家族と連携を図り、情報の共有を図る。</p> <p>(報告) 日々、利用者とコミュニケーションを図ることで、身体面や精神面での変化に気づくようになってきたと思います。少しでも変化があった場合に、専門職に報告・相談するようにと指導はしていますが、経験値の差、職員自体の能力の差があり全員がしっかりとできているとは言えないところがあります。その為、その差を無くしていくべき情報共有の必要性・方法の教育、円滑な情報共有システムの構築が今後の課題であると思います。</p>
②職員が相談しやすい環 境づくりを行い、職員 の定着、スキルアップ を図る。	<p>(1) 職場内の風通しを良くし、相談しやすい環境づくりを行う。 (2) 施設内の勉強会やユニットミーティングを活用し、知識や介護技術を身につける。</p> <p>(報告) 職員の話を聞く時間を作るよう心がけてきました。 今まで相談する経路が明確化されていなかったため、報連相の順番を徹底したり、各ユニットリーダー等から気になる職員が居るとの相談があればじっくり話し合う時間を設けることで以前に比べ職員の方からも相談事を話してくる機会が増えてきたように思います。 また人材不足等でじっくりと全体研修を行う時間が確保できなかつたため、研修等の時間を十分にとることができませんでした。その為、個別対応で全体研修を行えなかつた分を補完してきました。個別対応では効率の面で言えば時間に対する効果は薄いと感じます。今後、知識や技術の向上を図るためにも、様々な職種の意見が必要なため、勉強会の行い方を変えていく必要があると考えております。</p>

◇ 行事

4月	お花見 第1回 運営推進会議	10月	避難訓練 第4回 運営推進会議
5月		11月	
6月	あじさい見学 避難訓練 第2回 運営推進会議	12月	クリスマス会 餅つき大会 第5回 運営推進会議
7月		1月	
8月	第3回 運営推進会議	2月	節分 第6回 運営推進会議
9月	敬老祝賀会	3月	ひな祭り 避難訓練

(報告)

令和6年度より、少しずつ外出ができるようになってきました。施設内のレクリエーションの充実化も図っており、シルバー雇用にて経験の豊富な職員をレクリエーション担当として配置する等の工夫を行い利用者へも良き刺激となり、笑顔を見る機会が増えてきました。しかしながら外出した方が普段にはない刺激となり、喜んでいただけることもまた事実ですので、利用者の体調等を観察しながら外出レクリエーションの機会を増やしていく努力は続けていきたいと思います。

【令和6年度総括】

利用者の体調変化により、入院後にそのまま退去となつた方が多くいらっしゃいました。以前に比べると日頃の観察ができてきており、ユニット職員からの報告で早期発見し病院受診につなげることができたと実感しています。しかし、入院中に悪化するケースが多かった印象があり、帰設につなげることができなかつた利用者が居たことは残念に思いました。また、令和6年度は3名の方の看取り介護をさせていただきました。看取り介護をすることで、小さな状態変化に気づく目を養う機会となりました。また、看取りは1分1秒を大切に良質なケアを提供する必要がありました。職員にはこの大事な経験を糧に看取りの方だけではなく、他の利用者にも日々、後悔のないケアを行うように引き続き指導していきたいと思います。

令和6年度は思うように全体研修が行えず、非効率的な個別対応が多かつたので令和7年度は研修会の開催方法を再検討し、効率的かつ各職員の個別性にも配慮可能な研修会のシステム作りを行っていきたいと思います。

令和6年度 社会福祉法人 恵康会
特別養護老人ホームひかりの丘 事業経過報告

1. 月別入居者推移表

(人)

	R6.4月	R6.5月	R6.6月	R6.7月	R6.8月	R6.9月	R6.10月	R6.11月	R6.12月	R7.1月	R7.2月	R7.3月
男性	8	9	9	10	10	10	10	10	11	11	9	9
女性	17	20	20	19	19	18	18	17	18	18	18	20
合計	25	29	29	29	29	28	28	27	29	29	27	29
目標数	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29

2. 月別請求件数／介護給付費請求金額

(件／円)

	R6.4月	R6.5月	R6.6月	R6.7月	R6.8月	R6.9月	R6.10月	R6.11月	R6.12月	R7.1月	R7.2月	R7.3月
請求件数	25	28	29	30	29	28	27	27	29	28	27	29
介護給付費 請求金額	7,452,983	8,673,185	8,843,934	8,963,887	8,968,656	8,116,457	8,501,748	8,288,076	9,042,982	8,976,373	7,701,653	8,327,149

3. 月別要介護度別表

(人)

	R6.4月	R6.5月	R6.6月	R6.7月	R6.8月	R6.9月	R6.10月	R6.11月	R6.12月	R7.1月	R7.2月	R7.3月
要介護1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
要介護2	5	7	6	5	5	4	4	4	4	4	4	5
要介護3	6	9	9	10	10	11	10	9	10	9	7	9
要介護4	8	7	8	8	8	8	9	9	10	10	10	9
要介護5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	5	5	5
合計	25	29	29	29	29	28	28	27	29	29	27	29

4. 月別居住区表

(人)

	R6.4月	R6.5月	R6.6月	R6.7月	R6.8月	R6.9月	R6.10月	R6.11月	R6.12月	R7.1月	R7.2月	R7.3月
小倉北区	5	5	4	5	5	3	3	3	3	2	2	1
小倉南区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
門司区	20	23	24	23	27	26	23	23	24	24	23	25
戸畠区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
若松区	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
八幡東区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八幡西区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	26	29	29	29	33	30	27	27	29	28	27	29

5. 月別平均年齢

(歳)

	R6.4月	R6.5月	R6.6月	R6.7月	R6.8月	R6.9月	R6.10月	R6.11月	R6.12月	R7.1月	R7.2月	R7.3月
男性	81.7	82.7	82.8	84.0	84.0	84.1	84.2	84.3	84.2	84.3	85.2	83.9
女性	89.5	89.6	90.0	90.7	91.0	90.2	90.3	91.4	91.7	91.8	91.9	90.8
男女平均	87.0	87.5	88.0	88.4	88.6	88.0	88.1	88.7	88.9	89.0	89.7	88.5

◇ 附属明細書

令和6年度 入退去状況

退去	入居
R6. 4. 1 要介護5 男性 (医療ニーズ)	R6. 5. 1 要介護3 女性 (在宅より)
R6. 5. 25 要介護2 女性 (医療ニーズ)	R6. 5. 1 要介護3 男性 (在宅より)
R6. 6. 28 要介護4 女性 (医療ニーズ)	R6. 5. 1 要介護2 男性 (在宅より)
R6. 7. 11 要介護5 女性 (看取り)	R6. 5. 7 要介護2 女性 (病院より)
R6. 7. 31 要介護2 男性 (医療ニーズ)	R6. 5. 8 要介護3 女性 (老健より)
R6. 8. 5 要介護5 女性 (看取り)	R6. 6. 3 要介護4 女性 (老健より)
R6. 10. 21 要介護3 女性 (医療ニーズ)	R6. 7. 11 要介護4 男性 (老健より)
R7. 1. 14 要介護4 男性 (入院先にて逝去)	R6. 7. 23 要介護4 女性 (在宅より)
R7. 1. 29 要介護2 男性 (医療保護入院)	R6. 8. 2 要介護2 男性 (在宅より)
R7. 2. 7 要介護4 女性 (看取り)	R6. 12. 1 要介護3 女性 (在宅より)
R7. 3. 7 要介護4 女性 (医療ニーズ)	R6. 12. 3 要介護4 女性 (病院より)
	R7. 3. 1 要介護3 女性 (施設より)
	R7. 3. 7 要介護3 女性 (病院より)
	R7. 3. 10 要介護2 女性 (病院より)

令和6年度は、11名の退去と14名の入居がありました。退去の理由としては医療ニーズが高く施設に戻ることができないケースが多く見られました。また、3名の方の看取り介護を行わせていただきました。

入居については14名のうち7名の方が、ショートステイひかりの丘をご利用いただきました。

入居調整については、年々、申込者数の減少が続いている状況です。ショートステイと連携を図ることで入居に結びつけることができました。今後も連携を図っていきたいと思います。また、空床期間が長くならないように今後も調整を継続してまいります。

令和6年度 社会福祉法人 恵康会
ショートステイひかりの丘 事業報告

(1) 事業所の種類

短期入所生活介護・予防短期入所生活介護

(2) 事業所の目的

利用者が住み慣れた地域での生活を継続することができるよう、家族・友人・地域住民との交流や地域活動への参加を図りつつ、利用者の心身の状況、希望、置かれている環境を踏まえ利用者の尊厳を守るとともに、適切なサービスを提供することを目的とします。

(3) 運営方針

基本理念『一人一人の暮らしを思いやりの心で』

運営方針《個性を大事に、自分らしく暮らしていくように支えます。》

《近隣地域とのつながりを密接に保つとともに、地域に開かれた施設を目指します。》

《口腔機能の維持、向上を図り、できる限り健康に暮らせるようにサポートします。》
を基に利用者の尊厳ある生活を支えていきます。

(4) 事業運営計画

- ・新規利用者の獲得に向け居宅介護支援事業所の連携に努めます。
- ・利用者、家族の状況を把握し柔軟な対応、受け入れを行います。
- ・施設内・外の研修の充実を図り、スキルアップを目指します。

(5) 利用定員

利用定員：1ユニット10名

事業実施区域：門司区・小倉北区（但し離島は除く）・小倉南区

(6) サービスの内容

入浴・排泄・食事等の介護、機能訓練、相談及び援助、健康状態の確認、送迎、その他利用時に必要と思われるサービスの提供をします。

◇ 課題項目と方策とその報告

課題項目	達成のための方策とその報告
①居宅介護支援事業所との連携	<p>(1) 締密に情報交換を行っていく。 (2) 利用の問い合わせにできる限り迅速に対応する。 (3) 緊急時の受け入れも対応できるよう、情報収集や急変時の対応等の確認を行う。</p> <p>(報告) 緊急時の受け入れや急変時の対応は、ケアマネジヤーや家族と連携し、比較的スムーズに行えたと考えます。 居宅介護支援事業所と連携するにあたり、ショートステイを利用しながら利用者の今後についてケアプランを基に検討でき、施設や病院へつなぐこともできました。</p>
②介護技術の向上	<p>(1) 利用者1人ひとりに合った支援を職員間で統一する。 (2) 多職種と連携し自宅の生活に近い状況で過ごせる環境整備。 (3) 利用者が気持ちよく来所し、気持ちよく退所できる雰囲気をつくる。</p> <p>(報告) 利用者や家族から「ショートステイを利用して良かった」とのお声をいただく一方で、食事の味付けに不満を抱かれることが数件ありました。 食事もショートステイを選ぶ際の重要な要素の一つであるため、改善を検討する必要があると考えます。 施設入所と違い自宅で生活される方がほとんどのため、自宅に戻っても生活が継続できるよう、専門職種による体調管理やリハビリ等、連携して行えたと思います。</p>

◇ 行事

4月		10月	避難訓練
5月		11月	
6月	避難訓練	12月	クリスマス会 餅つき大会
7月		1月	
8月		2月	節分
9月	敬老祝賀会	3月	ひな祭り 避難訓練

(報告)

コロナウイルス感染状況も軽減されましたが、デイサービスへ行かれている方がほとんどのなか、感染が疑わしい利用者も多く、思うように行事が行えていません。

今後も感染対策を行いながら、行事の検討が必要と考えます。

【令和6年度総括】

ユニット内のレクリエーションが充実しておらず、今後の課題でもあります。利用者よりショートステイは退屈に感じるとの声も上がっているため、職員も利用者と一緒に楽しめるレクリエーションを行っていきたいと思います。そのため、1人ひとりに合ったレクリエーションも考える必要があります。利用者と向き合う時間も職員には必要なことだと考えます。

令和6年度 社会福祉法人 恵康会
ショートステイひかりの丘 事業経過報告

1. 月別稼働率 (%)

	R6. 4月	R6. 5月	R6. 6月	R6. 7月	R6. 8月	R6. 9月	R6. 10月	R6. 11月	R6. 12月	R7. 1月	R7. 2月	R7. 3月
稼働率	94.51	83.23	56.77	75.16	79.67	97.74	83.23	90.97	72.90	70.97	80.32	82.90
目標数	80	81	81	82	85	82	82	82	83	85	80	82

2. 月別登録者推移表 (人)

	R6. 4月	R6. 5月	R6. 6月	R6. 7月	R6. 8月	R6. 9月	R6. 10月	R6. 11月	R6. 12月	R7. 1月	R7. 2月	R7. 3月
男性	10	9	9	9	9	11	11	13	7	10	15	9
女性	24	24	18	20	25	23	23	22	22	17	22	23
合計	34	33	27	29	34	34	34	35	29	27	37	32

3. 月別請求件数／介護給付費請求金額 (件／円)

	R6. 4月	R6. 5月	R6. 6月	R6. 7月	R6. 8月	R6. 9月	R6. 10月	R6. 11月	R6. 12月	R7. 1月	R7. 2月	R7. 3月
請求件数	34	33	27	29	34	34	34	35	29	27	37	32
介護給付費 請求金額	2,705,206	2,408,231	1,710,404	2,206,406	2,370,184	2,808,725	2,449,090	2,626,359	2,159,131	2,043,571	2,372,152	2,343,952

4. 月別要介護度別表 (人)

	R6. 4月	R6. 5月	R6. 6月	R6. 7月	R6. 8月	R6. 9月	R6. 10月	R6. 11月	R6. 12月	R7. 1月	R7. 2月	R7. 3月
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	4	3	3	4	6	6	3	7	5	5	4	3
要介護2	11	13	8	12	7	7	13	11	8	7	10	10
要介護3	10	9	5	6	9	8	9	8	7	6	7	9
要介護4	6	5	9	6	9	10	7	8	6	7	9	7
要介護5	3	3	2	1	3	3	2	1	3	2	6	3
合計	34	33	27	29	34	34	34	35	29	27	37	32

5. 月別居住区表 (人)

	R6. 4月	R6. 5月	R6. 6月	R6. 7月	R6. 8月	R6. 9月	R6. 10月	R6. 11月	R6. 12月	R7. 1月	R7. 2月	R7. 3月
小倉北区	5	5	6	6	9	9	4	4	4	3	7	5
小倉南区	2	3	2	2	3	1	3	3	4	3	3	2
門司区	27	25	19	21	22	24	27	28	21	21	27	25
豊前市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	34	33	27	29	34	34	34	35	29	27	37	32

6. 月別平均年齢 (歳)

	R6. 4月	R6. 5月	R6. 6月	R6. 7月	R6. 8月	R6. 9月	R6. 10月	R6. 11月	R6. 12月	R7. 1月	R7. 2月	R7. 3月
男性	87.40	82.66	82.66	82.44	85.00	82.36	84.09	85.23	86.00	83.30	82.73	85.00
女性	91.04	88.95	92.00	90.25	88.44	89.13	89.96	90.64	88.32	87.59	88.18	90.16
男女平均	89.97	87.24	88.88	87.83	87.53	86.94	88.06	88.63	87.76	86.00	85.97	89.03

◇ 附属明細書

令和6年度新規受け入れ

R6. 4月 : 2名

R6. 5月 : 7名

R6. 6月 : 2名

R6. 7月 : 5名

R6. 8月 : 7名

R6. 9月 : 6名

R6. 10月 : 8名

R6. 11月 : 6名

R6. 12月 : 1名

R7. 1月 : 2名

R7. 2月 : 9名

R7. 3月 : 4名

合計59名

令和6年度は、59名の新規利用者の受け入れがありました。

新規利用者受け入れのケースで多くみられたのは、主介護者の入院によりご自宅での生活がお独りでは困難な方、ご本人が体調不良だが入院にまで至らなかった方が多く見られました。また、施設入所待ちの方もおられロングショートにつながるケースもありました。ショートステイを利用されるなか、継続利用につながるケースは少なく、利用月のみで利用が終了することがほとんどです。そのため、新規利用者の依頼はとても大切なものです。

日々の積み重ねにより、自施設の特別養護老人ホームやグループホームの利用者獲得にもつなげていく必要を感じています。居宅介護支援事業や病院より入居についての相談を受けることも少なくなく、今後も連携を取っていきたいと考えます。

令和6年度 社会福祉法人 恵康会
グループホームひかりの丘 事業報告

(1) 事業所の種類

認知症対応型共同生活介護・予防認知症対応型共同生活介護

(2) 事業所の目的

要支援2、要介護者にあって認知症の状況にある者について共同生活住居において、家庭的な環境の下で入浴、排泄、食事等の介護その他の日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように支援することを目的とします。

(3) 運営方針

基本理念『一人一人の暮らしを思いやりの心で』

運営方針《個性を大事に、自分らしく暮らしていくように支えます。》

《近隣地域とのつながりを密接に保つとともに、地域に開かれた施設を目指します。》

《口腔機能の維持、向上を図り、できる限り健康に暮らせるようにサポートします。》
を基に利用者の尊厳ある生活を支えていきます。

(4) 事業運営計画

- ・利用者の高齢化や認知症の多様化に伴い、1人ひとりの状態を把握し、職員間や主治医、専門医、家族との連携を図り、異常の早期発見ができるように努めます。
- ・利用者に笑顔があふれ、楽しく生活できる場になるように努めます。
- ・面会が再開されたことで、今まで以上に家族の要望や希望、意見をいただけるような環境を目指します。

(5) 利用定員

入居定員：2ユニット18名

かんもん 9名

かざし 9名

(6) サービスの内容

- ・利用者の生活

決められた日常の流れを作らず、自宅で生活しているような、自由でゆったりとした時間を過ごしていただきます。日々の生活の中で1人ひとりの役割づくりを目指し、その役割が自信となって自立に結びつくような生活を支援します。

- ・家族との交流

利用者の日々の生活の様子を手紙にてお知らせします。また、家族に参加していただく敬老会・クリスマス会等、交流の場を設けます。そして、家族との連絡は密に取り合い、利用者の状態やケアプランについての話し合いの場を設けます。

- ・食事

栄養士の献立のもと、厨房より運ばれた食事を配膳します。また、利用者と職員が一緒に昼食作りやおやつ作りを行います。

- ・レクリエーション

天気や利用者の希望にあわせて、レクリエーションを行います。

◇ 課題項目と方策とその報告

課題項目	達成のための方策とその報告
①感染症対策に努め、コロナ前の生活を取り戻し、安全で安心した生活が送れるよう努める。	<p>(1) 日々の感染対策を徹底する。 (2) 感染症対策の研修を定期的に行う。 (3) 施設外のレクリエーションを検討する。 (4) 家族との面会やユニット間の交流を図る。</p> <p>(報告) 施設外のレクリエーションは藤松市民センターのお祭りや藤松フェスタなど地域のお祭りなどに参加させていただくことができました。その他にも少人数ではありますが、ドライブや外食にも出かけることができました。職員がコロナに感染しましたが、ユニット内では拡大せずに終息させることができました。家族の面会も継続できており、利用者の明るい笑顔を見ることができます。コロナ中に入居された利用者の家族とはなかなかコミュニケーションが難しかったため、面会に来られた際には、ご意見を伝えていただきやすい関係性を築けるように努めています。両ユニット合同で体操やレクリエーションを行ったり、夏祭りを開催する事で、利用者間だけでなく、職員間も交流が図られたと考えます。</p>
②利用者の高齢化、認知症の多様化に伴い状態に合わせた介護技術、認知症に対する知識や理解を深める。	<p>(1) 認知症に関する研修を定期的に行う。 (2) 状態の変化に気づける、きめ細やかな観察力を身につける。 (3) 状態に変化があった時に職員間や多職種と情報の共有を図る。</p> <p>(報告) 日々のケース記録やユニット会議を活用して、職員間で情報の共有が図れるようにしました。往診時に先生や看護師とも情報を共有し、状態の変化に早期に気づけるようになり、必要な受診や入院につなげることができました。新人研修として認知症についての研修を行うことで、各職員が認知症について再確認できるようにしています。</p>

◇ 行事

4月	お花見 食事作り 第1回 運営推進会議	10月	食事作り・お誕生日会 避難訓練 第4回 運営推進会議
5月	食事作り お誕生日会	11月	食事作り
6月	食事作り・お誕生日会 避難訓練 第2回 運営推進会議	12月	食事作り クリスマス会・餅つき大会 第5回 運営推進会議
7月	お誕生日会 食事作り 七夕飾り	1月	食事作り お誕生日会
8月	食事作り・お誕生日会 夏祭り 第3回 運営推進会議	2月	食事作り・お誕生日会 節分 第6回 運営推進会議
9月	食事作り 敬老祝賀会	3月	食事作り・お誕生日会 ひな祭り・ドライブ 避難訓練

(報告)

なかなか外出を伴うレクリエーションができなかつたため、両ユニット合同で夏祭りを行いました。屋台風に装飾したテーブルに料理を並べ、お好きな物を選んでいただいたり、射的や輪投げなどのゲームで楽しんでいただきました。毎月の食事作りもリクエストを伺いながら行いました。徐々にドライブや外食にも出かけられるようになってきたことから、令和7年度は積極的に外に出る機会を作っていくたいと思っています。

【令和6年度総括】

令和6年度は4件の看取り介護をさせていただきました。看取り介護は利用者の状態によって、全く違うため、職員もその都度、ケアの仕方について話し合ったり、情報を共有しながら、利用者の気持ちに寄り添う努力を行うことができていたのではないかと思います。また、ユニットの垣根を越えて利用者の様子を気遣う姿も見られたことはとても良かったと思います。年末に職員がコロナに罹患しましたが、クラスターになることなく過ごせたのも良かったと思います。令和7年度も感染予防に努めながら、日々のケアに励みたいと思います。また、家族の面会があることで、利用者の笑顔が増えているように感じます。面会の規制が徐々に解除されたことで家族と過ごす時間が増えたように感じます。面会時に家族が意見を伝えやすい関係づくりを行っていく必要性も感じています。また、日々の生活に活気を感じて楽しんでいただけるようにレクリエーションや役割づくりにも取り組んでまいりたいと思います。職員の離職もあり、人手不足になることもありましたが、相談しやすい関係や雰囲気づくりを行い、働きやすい環境づくりにも取り組んでいきたいと思います。

令和6年度 社会福祉法人 恵康会
グループホームひかりの丘 事業経過報告

1. 月別入居者推移表

(人)

	R6.4月	R6.5月	R6.6月	R6.7月	R6.8月	R6.9月	R6.10月	R6.11月	R6.12月	R7.1月	R7.2月	R7.3月
男性	1	3	3	2	0	0	0	1	1	1	1	1
女性	15	15	15	15	17	18	17	17	16	16	16	16
合計	16	18	18	17	17	18	17	18	17	17	17	17
目標数	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18

2. 月別請求件数／介護給付費請求金額

(件／円)

	R6.4月	R6.5月	R6.6月	R6.7月	R6.8月	R6.9月	R6.10月	R6.11月	R6.12月	R7.1月	R7.2月	R7.3月
請求件数	17	18	18	18	18	18	18	18	18	17	17	18
介護給付費 請求金額	4,427,582	4,938,018	4,874,211	4,693,824	4,850,544	4,843,834	5,066,013	5,093,647	5,352,283	4,983,129	4,514,701	5,101,482

3. 月別要介護度別表

(人)

	R6.4月	R6.5月	R6.6月	R6.7月	R6.8月	R6.9月	R6.10月	R6.11月	R6.12月	R7.1月	R7.2月	R7.3月
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	3	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4
要介護2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2
要介護3	3	4	4	3	3	4	4	4	4	4	4	4
要介護4	7	7	7	7	7	7	6	7	6	6	6	4
要介護5	1	1	1	0	1	2	2	2	2	2	2	3
合計	16	18	18	17	17	18	17	18	17	17	17	17

4. 月別居住区表

(人)

	R6.4月	R6.5月	R6.6月	R6.7月	R6.8月	R6.9月	R6.10月	R6.11月	R6.12月	R7.1月	R7.2月	R7.3月
小倉北区	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2
小倉南区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
門司区	12	14	14	14	14	16	14	15	14	14	14	14
戸畠区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
若松区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
八幡東区	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八幡西区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	16	18	18	17	17	18	17	18	17	17	17	17

5. 月別平均年齢

(歳)

	R6.4月	R6.5月	R6.6月	R6.7月	R6.8月	R6.9月	R6.10月	R6.11月	R6.12月	R7.1月	R7.2月	R7.3月
男性	96.0	90.0	90.0	87.0	0.0	0.0	0.0	91.0	91.0	92.0	92.0	92.0
女性	91.0	91.1	90.8	90.6	90.0	90.0	90.1	90.1	90.1	90.2	90.2	89.5
男女平均	91.3	90.9	90.6	90.2	90.0	90.0	90.1	90.2	90.2	90.3	90.3	89.7

◇ 附属明細書

□令和6年度入退去状況

◆退去

- R6. 05. 25 女性 要介護5 医療機関
- R6. 06. 08 男性 要介護5 看取り
- R6. 06. 30 女性 要介護1 自宅
- R6. 07. 13 男性 要介護3 医療機関
- R6. 07. 23 男性 要介護1 看取り
- R6. 10. 18 女性 要介護4 医療機関
- R6. 12. 28 女性 要介護5 看取り
- R7. 03. 06 女性 要介護4 看取り

◇入居

- R6. 05. 01 男性 要介護1 自宅
- R6. 05. 04 男性 要介護3 自宅
- R6. 06. 01 女性 要介護1 自宅
- R6. 07. 10 女性 要介護4 医療機関
- R6. 08. 01 女性 要介護5 医療機関
- R6. 08. 29 女性 要介護1 自宅
- R6. 09. 11 女性 要介護3 医療機関
- R6. 11. 02 男性 要介護2 自宅
- R7. 03. 05 女性 要介護1 医療機関

令和6年度は、8件の退去と9件の入居がありました。退去のうち4件は看取り介護で、3件は医療ニーズの高まりにより、医療機関へ転院されました。利用者の高齢化もあり、今後は医療の必要性が高まり、医療機関への転院や看取り介護が増えていくことが想定されます。そのため、なるべく空床期間を短縮できるよう、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所、各病院の医療連携室などと連携を図ってまいります。

令和6年度 社会福祉法人 恵康会
グループホームひかりの道 事業報告

(1) 事業所の種類

認知症対応型共同生活介護・予防認知症対応型共同生活介護

(2) 事業所の目的

要支援2、要介護者にあって認知症の状況にある者について共同生活住居において、家庭的な環境の下で入浴、排泄、食事等の介護その他の日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように支援することを目的とします。

(3) 運営方針

基本理念『一人一人の暮らしを思いやりの心で』

運営方針『個性を大事に、自分らしく暮らしていけるように支えます。』

『近隣地域とのつながりを密接に保つとともに、地域に開かれた施設を目指します。』

『口腔機能の維持、向上を図り、できる限り健康に暮らせるようにサポートします。』
を基に利用者の尊厳ある生活を支えていきます。

(4) 事業運営計画

- ・利用者の心身状態を把握し、1人ひとりに寄り添ったケアが出来るように取り組みます。
- ・利用者が毎日安心して生活ができるように努めます。
- ・施設内研修や勉強会を開催し、職員のスキルアップを図ります。

(5) 利用定員

入居定員：2ユニット18名

ひまわり 9名

あやめ 9名

(6) サービスの内容

- ・利用者の生活

研修やOJTを活用し1人ひとりが利用者の変化を話し合い、「してあげられなかつたではなく、してあげれて良かった。」を目標にどのようにしていけば良いのかを職員同士が考え、行動していくことができました。家族より「母はここをお家だと思っていたので苦しまず安心して逝けたのではないかなと思います。棺に皆さんとのお写真を一緒にに入れました。」とお手紙をいただきスタッフと共有することができました。

毎月、利用者の様子を手紙にてお知らせいたします。また、行事にも参加していただき、ふれあいの場を設けていきます。家族との連絡は密に取り合い、利用者の状態やケアプランについての話し合いの場を設けていきます。

- ・レクリエーション

散歩、カラオケ、小物作り、園芸など、利用者の趣味や希望に沿ったレクリエーションに取り組みます。ドライブや外食、買物などの外出レクリエーションも定期的に実施します。

◇ 課題項目と方策とその報告

課題項目	達成のための方策とその報告
①利用者の状態を把握し、適切なケアを行う。	<p>(1) 利用者をよく観察し、早期発見に努める。 (2) 職員内で情報を共有し、申し送りを徹底する。 (3) ユニット会議を活用し、ケアの統一を行う。</p> <p>(報告) (1) 些細な変化にも職員同士で話し合い、自発的にそれぞれの利用者に合ったケアの工夫を行うことができました。 (2) 連絡ノートだけでなくホワイトボードも活用し視覚的にも当日の予定や、申し送り事項を一目で分かるように工夫しました。 ただし、一部の職員間で情報共有に偏りが見られる場面もあり、今後も継続的な取り組みと意識の統一が求められます。 (3) ユニット会議だけでなく日常的に職員同士の情報交換を行い、連絡ノートを活用することで新規利用者のケアや看取りのケアにおいても統一された対応ができました。</p>
②介護技術や知識のスキルアップに努める。	<p>(1) 月1回施設内研修の開催を実施する。 (2) 職員が質問しやすい環境づくりに努める。 (3) 緊急時に適切な対応ができるような取り組みを行う。 (4) 専門職との連携を図る。</p> <p>(報告) (1) 毎月の研修を継続して実施し、基本的な介護技術や知識の向上に努めました。 (2) 日頃から密なコミュニケーションを図り、根拠を添えて説明することで職員が気軽に質問しやすい環境を整えることができたと感じています。 (3) 緊急時の対応マニュアルは常に閲覧可能な状態にしておりましたが、改めて、急変リスクのある利用者について、予測される症状や観察ポイントを整理・共有し、急変時には迅速に病院受診につなげることができました。 (4) 急変リスクの高い方が入居された際や看取りの際には看護師や多職種との連携を強化し、痰のぬぐい方や状態把握の仕方など直接指導を受けながら対応しました。</p>

◇ 行事

4月	食事作り お誕生会 シャボン玉レクリエーション	10月	食事作り お誕生日会 運動会
5月	食事作り・お誕生日会 ベランダおやつ 第1回 運営推進会議	11月	お誕生日会 消防避難訓練（昼想定） 第4回 運営推進会議
6月	食事作り お誕生会 ドライブ	12月	クリスマス会 餅つき大会 消防避難訓練（災害）
7月	食事作り・お誕生日会 七夕飾り・ドライブ 第2回 運営推進会議	1月	食事作り お誕生日会 消防避難訓練（夜間想定）
8月	食事作り・お誕生日会 盆踊り かき氷作り	2月	食事作り お誕生日会 第5回 運営推進会議
9月	お誕生日会 敬老祝賀会 第3回 運営推進会議	3月	お誕生日会 手作りたこ焼きレクリエーション 第6回 運営推進会議

（報告）

令和6年度は、食事レクリエーションや壁紙作りなどの室内レクリエーションに加え、ユニット合同での行事も増えました。6月にはドライブや季節ごとのレクリエーションを実施し、12月にはユニット合同のクリスマス会やひかりの丘の餅つき大会に参加することができました。

コロナの発生もあり一部に影響がありましたが、これまで縮小していた活動の幅が広がったのは非常に良かったです。令和7年度は開催頻度を高めていきたいと思います。

【令和6年度総括】

令和6年度は1名の看取りをさせていただきました。久しぶりの看取りで不安の声もありましたが、研修やOJTを活用し、職員一人ひとりが利用者の変化について話し合い、「してあげれば良かった」ではなく、「してあげられて良かった」と思えるケアを目指して取り組むことができました。家族より、「母はここをお家だと思っていたので、安心して逝けたのではないかと思います。皆さんとのお写真を棺に一緒にに入れました。」とのお手紙をいただき、職員間で共有することができました。家族の言葉は私たちの励みとなり、ケアの大切さを再認識する機会となりました。

一方で退去が続き、見学にはお越しいただくものの、なかなか入居にはつながらず、長期間の空室が発生しました。入居者紹介機関経由での入居が多く見受けられたので、今後は地域の居宅支援事業所や病院のケースワーカー等へひかりの道を周知していただけるよう、積極的に地域とのつながりを深めていきたいと考えています。

令和6年度 社会福祉法人 恵康会
グループホームひかりの道 事業経過報告

1. 月別入居者推移表

(人)

	R6.4月	R6.5月	R6.6月	R6.7月	R6.8月	R6.9月	R6.10月	R6.11月	R6.12月	R7.1月	R7.2月	R7.3月
男性	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	1
女性	16	16	16	15	15	15	15	14	14	13	13	14
合計	17	17	17	16	16	16	17	16	16	15	15	15
目標数	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18

2. 月別請求件数／介護給付費請求金額

(件／円)

	R6.4月	R6.5月	R6.6月	R6.7月	R6.8月	R6.9月	R6.10月	R6.11月	R6.12月	R7.1月	R7.2月	R7.3月
請求件数	17	17	17	16	16	16	16	15	15	15	14	15
介護給付費 請求金額	4,580,951	4,525,055	4,349,806	4,600,002	4,580,318	4,186,580	4,136,514	3,941,391	4,061,202	4,055,216	3,677,562	4,210,203

3. 月別要介護度別表

(人)

	R6.4月	R6.5月	R6.6月	R6.7月	R6.8月	R6.9月	R6.10月	R6.11月	R6.12月	R7.1月	R7.2月	R7.3月
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2
要介護2	4	5	4	4	4	4	5	4	4	4	4	3
要介護3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4
要介護4	5	5	6	5	5	5	4	4	4	3	3	3
要介護5	3	3	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3
合計	17	17	17	16	16	16	17	16	16	15	15	15

4. 月別居住区表

(人)

	R6.4月	R6.5月	R6.6月	R6.7月	R6.8月	R6.9月	R6.10月	R6.11月	R6.12月	R7.1月	R7.2月	R7.3月
小倉北区	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小倉南区	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0
門司区	15	15	16	15	15	15	16	16	16	15	15	15
戸畠区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
若松区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八幡東区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八幡西区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	17	17	17	16	16	16	17	16	16	15	15	15

5. 月別平均年齢

(歳)

	R6.4月	R6.5月	R6.6月	R6.7月	R6.8月	R6.9月	R6.10月	R6.11月	R6.12月	R7.1月	R7.2月	R7.3月
男性	79.3	79.5	79.6	79.7	79.8	79.8	83.0	83.0	83.5	83.5	83.5	80.3
女性	89.5	89.6	89.8	89.7	89.8	89.8	90.0	89.9	90.1	89.2	89.4	89.9
男女平均	88.9	89.0	89.2	89.0	89.1	89.1	89.2	89.6	89.2	88.5	88.6	89.2

◇ 附属明細書

令和6年度は、令和5年度に比べて退去数が多くなってしまいました。その後、見学にお越しいただくものの、入居には至らず、空室期間が長くなってしまいました。

退去

		入居
R5. 11. 30	要介護4（体調悪化により入院し療養型病床へ入所）	→ R6. 6. 9 要介護1
R6. 5. 17	要介護5（体調悪化により入院し療養型病床へ入所）	→ R6. 10. 9 要介護2
R6. 6. 22	要介護4（体調悪化により入院し療養型病床へ入所）	→ R7. 3. 1 要介護1
R6. 10. 15	要介護1（ご家族希望で有料老人ホーム入居）	→ R7. 4. 1 要介護1
R6. 12. 15	要介護4（看取りの為死亡）	→ R7. 4. 12 要介護1
R7. 2. 25	要介護2（体調悪化により入院し療養型病床へ入所）	→ R7. 5. 19 要介護1

現在、ご入居予定の方が1名おられます。その方がご入居となれば、満床となります。